



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月11日

上場会社名 株式会社 ティア
 コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富安 徳久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 辻 耕平
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日 配当支払開始予定日 平成27年6月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東 名

TEL 052-918-8254
 平成27年6月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	5,243	7.6	736	21.0	701	20.9	429	21.1
26年9月期第2四半期	4,874	6.9	608	7.9	580	9.7	354	9.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	22.12	—
26年9月期第2四半期	19.44	—

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	10,451	4,807	46.0
26年9月期	8,913	3,284	36.8

(参考)自己資本 27年9月期第2四半期 4,807百万円 26年9月期 3,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	5.00	—	7.00	12.00
27年9月期	—	3.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年9月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 東証一部上場記念配当 2円00銭

(注)平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成26年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	5.0	1,032	4.0	980	5.9	630	15.0	31.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期2Q	20,167,200 株	26年9月期	18,224,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年9月期2Q	1,470 株	26年9月期	1,470 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期2Q	19,395,883 株	26年9月期2Q	18,222,589 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
前事業年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、底堅く推移する個人消費に加え、輸出の持ち直しや設備投資の増加等により、緩やかな回復基調となりました。また、景気の先行きに対しましては、雇用や所得環境の改善や生産活動の持ち直し等を背景に、回復傾向は持続するものと見られておりますが、新興国や先進国の動向や資源価格の変動等による不確実性は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々遡増するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましては、全国の死亡人口が増加していないことに加え、各社の営業施策等により、葬儀件数、葬儀単価共に横這いの推移となりました。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人材教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第2四半期累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現を目指すべく「新生ティア」をスローガンに掲げ、7項目の戦略テーマを推進してまいりました。新規会館につきましては、直営会館として名古屋市内に「ティア滝ノ水」「ティア岩塚」を開設し、フランチャイズにおきましては、岐阜県各務原市に「ティア那加」「ティア蘇原」を開設し、これにより直営41店舗、フランチャイズ36店舗の合計77店舗となりました。また、既存会館におきましては、葬儀ニーズの多様化に対応するために「ティア御器所」の改修工事を行い、小規模葬儀に対応した設備を増設いたしました。経費面では、商品改革の一環として、取扱商品や仕入単価の見直しに加え、葬儀に付帯する一部の業務の内製化にも取り組んでまいりました。また、業容拡大に伴う人材確保や、知名度の浸透を図る販売促進等も積極的に実施いたしました。

この結果、売上高は52億43百万円（前年同期比7.6%増）となり、売上原価率は前年同期と比べ1.9ポイント低下し、販管費は前年同期比9.0%増となりました。これにより、営業利益は7億36百万円（同21.0%増）、経常利益では7億1百万円（同20.9%増）、四半期純利益は4億29百万円（同21.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（a）葬祭事業

当第2四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、堅調に推移する既存店に加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比11.9%増の4,174件となり、葬儀単価におきましては、祭壇単価の低下や送迎バスにかかる契約内容及び取引実態の変更等により、前年同期比4.8%減となりました。この結果、売上高は50億81百万円（同7.4%増）、営業利益は9億99百万円（同12.9%増）となりました。

（b）フランチャイズ事業

当第2四半期累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ3店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加したのに加え、会館向けの物品販売や出店に係る加盟料等も増加いたしました。また、紙面広告やウェブ広告を活用した新規クライアントの開発も積極的に実施し、これにより、売上高は1億62百万円（同12.4%増）、営業利益は32百万円（同38.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は28億91百万円となり、前事業年度末に比べ12億57百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が12億42百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は75億60百万円となり、前事業年度末に比べ2億81百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億11百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、104億51百万円となり、前事業年度末に比べ15億38百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は26億41百万円となり、前事業年度末に比べ2億11百万円増加いたしました。これは主に未払金等のその他の流動負債が1億3百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は30億2百万円となり、前事業年度末に比べ1億96百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2億15百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、56億44百万円となり、前事業年度末に比べ15百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は48億7百万円となり、前事業年度末に比べ15億23百万円増加いたしました。これは主に公募及び第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ5億79百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,731	2,376,374
売掛金	244,852	274,858
商品	36,925	42,970
その他	228,587	207,186
貸倒引当金	△10,129	△10,325
流動資産合計	1,633,967	2,891,064
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,793,659	3,969,150
土地	1,291,021	1,291,021
その他(純額)	704,546	740,968
有形固定資産合計	5,789,226	6,001,139
無形固定資産	140,583	230,907
投資その他の資産		
差入保証金	1,047,903	1,036,916
その他	341,600	331,855
貸倒引当金	△40,000	△40,000
投資その他の資産合計	1,349,504	1,328,771
固定資産合計	7,279,314	7,560,818
資産合計	8,913,282	10,451,882
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,579	347,778
短期借入金	96,668	140,000
1年内返済予定の長期借入金	1,206,718	1,226,530
未払法人税等	260,500	269,000
賞与引当金	101,185	102,678
その他	451,671	555,591
流動負債合計	2,430,321	2,641,579
固定負債		
長期借入金	2,595,867	2,379,958
資産除去債務	220,205	238,562
その他	382,534	383,972
固定負債合計	3,198,607	3,002,493
負債合計	5,628,928	5,644,072

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,750	1,159,794
資本剰余金	214,250	793,294
利益剰余金	2,489,634	2,854,985
自己株式	△356	△356
株主資本合計	3,284,277	4,807,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	75	91
評価・換算差額等合計	75	91
純資産合計	3,284,353	4,807,809
負債純資産合計	8,913,282	10,451,882

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	4,874,212	5,243,995
売上原価	3,110,005	3,247,410
売上総利益	1,764,207	1,996,584
販売費及び一般管理費	1,155,552	1,259,833
営業利益	608,655	736,750
営業外収益		
受取利息	3,846	3,588
受取保険金	2,195	6,337
広告料収入	2,560	5,811
その他	4,622	5,101
営業外収益合計	13,225	20,838
営業外費用		
支払利息	39,453	33,805
株式交付費	-	17,755
その他	1,666	4,173
営業外費用合計	41,120	55,734
経常利益	580,759	701,854
特別利益		
固定資産売却益	82	34
特別利益合計	82	34
特別損失		
固定資産除売却損	1,423	281
特別損失合計	1,423	281
税引前四半期純利益	579,418	701,607
法人税、住民税及び事業税	239,907	257,199
法人税等調整額	△14,741	15,277
法人税等合計	225,165	272,476
四半期純利益	354,252	429,130

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	579,418	701,607
減価償却費	189,994	190,942
株式交付費	—	17,755
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,048	195
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,737	1,493
受取利息及び受取配当金	△3,852	△3,594
支払利息	39,453	33,805
売上債権の増減額(△は増加)	△26,532	△30,005
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,307	△15,972
仕入債務の増減額(△は減少)	52,556	34,199
その他	6,283	35,021
小計	818,798	965,449
利息及び配当金の受取額	40	56
利息の支払額	△39,019	△33,309
法人税等の支払額	△154,512	△250,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	625,306	681,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△375,536	△361,614
無形固定資産の取得による支出	△17,288	△6,605
差入保証金の差入による支出	△403	△16,102
差入保証金の回収による収入	31,147	30,627
その他	△9,440	△1,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△371,521	△355,330
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	330,000	420,000
短期借入金の返済による支出	△306,668	△376,668
長期借入れによる収入	600,000	475,000
長期借入金の返済による支出	△648,463	△671,097
株式の発行による収入	—	1,140,333
自己株式の取得による支出	△48	—
リース債務の返済による支出	△8,279	△8,716
配当金の支払額	△90,869	△63,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,329	915,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	519	1,077
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	129,974	1,242,642
現金及び現金同等物の期首残高	939,781	1,133,731
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,069,756	2,376,374

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成26年12月10日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ502,909千円増加しております。また、平成26年12月26日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ76,135千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間において資本金及び資本準備金が579,044千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が1,159,794千円、資本準備金が793,294千円となっております。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期累計期間（自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,729,261	144,950	4,874,212	—	4,874,212
計	4,729,261	144,950	4,874,212	—	4,874,212
セグメント利益	885,820	23,456	909,277	△300,622	608,655

(注) 1. セグメント利益の調整額△300,622千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間（自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,081,079	162,915	5,243,995	—	5,243,995
計	5,081,079	162,915	5,243,995	—	5,243,995
セグメント利益	999,693	32,456	1,032,149	△295,399	736,750

(注) 1. セグメント利益の調整額△295,399千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。